



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22, 1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2017年8月会報 第347号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Henry J. Grindheim

主 題: " Let Us Walk in the Light Together " 「共に、光の中を歩もう」
スローガン " Fellowship across the borders " 「国境なき友情」

アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)

主 題: " Respect Y's Movement " 「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 大野 勉 (神戸ポート)

主 題: 2022 年に向け「心身の健康づくりから、クラブの健康づくり」
" Healthy mind & healthy body make healthy club "

副 題: 「今あるクラブを充実させ、しょうらいのクラブへ
宝(財産)を伝承していこう！」

六甲部部長 杉本 隆人(神戸学園都市)

主 題: 「共感しあい、支えあおう」
Empathy each other, Root y's & YMCA

宝塚クラブ会長 武田 寿子

主 題: 「次世代への継承！」Continuity to the Next Generation
地域への奉仕、エネルギーを結集し西日本区大会を
成功させよう

今月のテーマ : Youth Activities

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。(Ⅱコリント4章18節)

2017年8月さんだ・宝塚クラブ合同納涼例会

日 時 : 2017年8月16日(水)18:30
場 所 : 宝塚ホテル ゴールドの間
会 費 : 5,000円

ドライバー 堀江裕一 石田由美子
開会点鐘 武田寿子宝塚クラブ会長
ワイズソング 全 員
聖書朗読 鯖尻佳子
祈 祷 多胡葉子
ゲスト・ビジター紹介 武田会長

お話し さんだクラブ会長 安行英文氏

晚餐・懇談 一 同

アトラクションⅠ
フラとハワイアン

アトラクションⅡ
お楽しみ

インフォメーション
YMCAニュース

誕生日記念日

閉会点鐘 安行英文さんだクラブ会長

2017/18 役 員	会 長 武田寿子 直前会長 若林成幸 副会長 多胡葉子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 多胡葉子・EMC 若林成幸 交 流・ファン ド 石田由美子 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 青柳美知子 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	多胡葉子(3日) 森田紀子(4日) 若林弘子(28日)
7 月 実 績	例会出席者数 27名 在籍会員数 20名(内功労会員1) 出席会員数 16名 出席率 84.2 % メイクアップ(内数) 0名 メネット 3名 コメント・孫メット0名、ゲスト・ビジター8名 例会充足率 125.0 % B F ポイント 7月 5,240 円 累 計 5,240 円 にこにこBOX 7月 2,500 円 累 計 2,500 円 ファン ド(物品販売) 4,000 円 累 計 4,000 円

会長のことば

梅雨明けで、猛暑が続いています。今年も神戸 YMCA の余島キャンプがにぎわう季節になりました。元リーダーとしてはこの季節が来ると、今年も子供たちの歓声が余島から聞こえてくるような気がします。台風が来ないか、事故がないかなどいらぬ心配が頭をよぎります。



さらに最近我が国の首相が、夏休みを短くし11月に休暇を分散する案を実行しようとしていることです。働き方改革の一環と言っていますが、夏休みが短くなれば、日本中のYMCAのキャンプや田舎に帰ってのんびり蝉取りとか、部活動などどうなるのか、企業の協力は得られるのかと、心配の種がまた増えました。60年以上継続してきた、神戸YMCAの宝、余島キャンプの将来への伝承をワイズとして大切に応援したいものです。

武田 寿子

7月キックオフ例会

宝塚クラブキックオフ例会が7月12日、メン16名、メネット3名、そしてゲスト8名をお迎えして、若林成幸直前会長の点鐘で幕開けとなった。初めに6月17日天に召された青柳正志メンへ全員で黙祷を捧げた。

会長、副会長、会計、書記の役員交代式に続き、久々の小林康男氏、西川勝久氏の入会式が大野

勉西日本区理事、三科仁昭 EMC 主任の立会いの下、杉本隆人六甲部長の式文朗読のあと、入会者お二人の力強い、やる気満々宣誓が会場に響いた。



続いて大野理事より、今年の抱負「心身の健康づくりから、クラブの健康づくり」、何事をするにもまづは健康の大切さを強調され、宝塚花組への敬意として、花柄のワイシャツをお召しになって、歌とマラソンを愛する理事をご披露された。

三科 EMC 主任よりは“Extension Membership & Conservation”をもじって「笑顔、皆でコミュニケーション」を掲げられ、新クラブ設立、会員増強、意識高揚への努力を惜しまぬ意欲が感じられた。

杉本六甲部長よりは「三かん」と称して①関心を持つこと(マザー・テレサ曰く無関心ほど怖いものはない)②感動する喜び ③感謝することの重要性を強調され、例会に参加して様々な人々に出会い、お互いのタレント性を認め、共感し、支えあい「今日は楽しかった！」という感激を持つ意味を力説された。

青柳美知子メンより、ご主人正志様が23年間のワイズメンとしてワイズ活動、国際大会への参加等を通じて、様々な国の方々との出会い、楽しい経験を積み、天に召される一か月前には受洗され、豊かな人生を送られたとのご報告がありまた感謝の意を述べられた。

最後に新会長武田寿子メンより新年度の抱負が述べられ、各事業委員紹介、吉田明メンより会計報告、ゲストお二方の誕生お祝いをし、YMCA 報告、Information に続き、瞬く間に、武田寿子新会長による閉会点鐘で幕を閉じた。



福田 宏子

7月第2例会報告

7月第2例会は、7月19日(水)午後6時から武田会長宅で行われた。

出席者は、メン・メネットと大阪茨木クラブの三牧勉メンをゲストに迎え、総勢19名が参加となった。

この日は、若林直前会長のご苦勞さん会に、過日、西日本区大会での広報最優秀賞に貢献の鯖尻メンの受賞祝い、長尾メンの3年にわたる西日本区事務所の退職慰勞を兼ねて行われた。武田会長による心づくしの食卓を囲み、ゲストを交えて華やき、和気あいあいとした雰囲気溢れる例会となった。

議事要旨は次の通り。

1. 8月例会の運営

8月は、さんだクラブとの合同による納涼例会を8月16日(水)に行うことから、第2例会を8月9日(水)西公民館にて、として運営する。
合同納涼例会は、フラとハワイアンコーラスのタベ、会費5000円、チラシ作成。

2. 9月～11月の例会

ゲストスピーカーは、9月…戸倉信吉氏「スマホは、あの黒船・ペリーが持ってきた！？～21世紀は繋がればなしの世界～」、10月…メネット主任 中道京子氏、11月…岩国みなみワイズ

中村桂子氏によるピアノコンサートとお話し。自立の家でコンサートを行い、ホテルへ移動しての例会とする。

3. 西日本区各部の部会への参加・登録について

9～10月に行われる部会への登録窓口は石田メンが担当。

9月10日京都部会参加者：堀江、長尾、多胡、鯖尻、石田 5名

4. 第21回西日本区大会関係

次回実行委員会を7月31日(月)に開催。

5. ブリテン編集

原稿締切り 7月31日 校正 8月1日

寄稿分担…会長の言葉、7月例会報告(福田宏子)、第2例会報告(若林)、第1回評議会報告(鯖尻)、他クラブ訪問記(若林)、Y ニュース(谷川)、その他

書記 若林成幸

西日本区・六甲部 第1回評議会

2017年7月8日(土)神戸YMCAチャペルに於いて午後1時半より第1回六甲部評議会が48名出席のもと開催されました。長井慎吾直前部長から16-17年度年次活動報告、また山本常雄会計から会計報告があり、また、杉本隆人部長から新年度の活動方針・活動計画が発表。主題は「共感しあい、支えあおう」Empathy each other, Root Y's & YMCA また今期六甲部役員の紹介の後、今期各事業主査より活動方針・計画が述べられ、予算審議の後、各クラブ会長より活動方針・事業計画が発表され、今期も新たなスタートがきられました。我宝塚クラブ会長武田寿子ワイズからも主題「次世代への継承、地域への奉仕、エネルギーを結集して西日本区大会を成功させる」Continuity to the next Generation が発表されました。

西日本区大野勉理事より来年度の第21回西日本区大会に向けての報告、また実行委員長石田

由美子ワイズより経過報告があり、来年の大会へ六甲部の協力が要請されました。



その後場所を移して懇親会、井上真二総主事よりYMCAブランディングのお話があり、豊かな交流後、チャペルへ移動してハンドベルコンサートを楽しみ、YMCAの歌を斉唱し、閉会点鐘で終了しました。

鯖尻佳子

第一回六甲部地域奉仕・環境事業委員会報告

今年度の六甲部地域奉仕・環境事業主査大野智恵さんの呼びかけで 7 月 31 日 (月) 午後 17:00～神戸 YMCA 三ノ宮会館で各クラブ CS 担当者 9 人が集まり、下記のように今年度の活動方針及び活動事業を確認した。

1. 西日本区事業主任の事業計画の確認

2. 六甲部としての独自事業の確認

- 1) 六甲部でベルマーク収集
各クラブでベルマークを集めてベルマーク助成財団を通じて被災地教育支援をする。(Y's として特定指定支援施設などを決める方向で考えることも必要)

(注) 昨年度神戸ポートクラブの活動でベルマーク収集をしてきて 27795.85 点が集まりベルマーク財団に寄贈。一点は 1 円とのこと。

2) キラリと輝くアート展開催

日時・場所などを決めていく

3. 西日本区への事業献金目標の達成を呼びかける。(円/一人)

- 1) 地域奉仕活動 (CS) 献金・・・1,500
- 2) TOF 献金・・・1,400
- 3) F F 献金・・・800
- 4) RBM 献金・・・800

以上締切日 2018 年 3 月 15 日

CS 担当 多胡葉子

神戸ポートクラブ 入会式に参列

EMC 主査として初登板は 7 月 13 日 (木) 神戸ポートクラブでの入会式でした。神戸ポートは宝塚と同時期 (1988 年 5 月) に設立、来年 30 周年を迎えます。三宮ステーションホテルの一室での例会に、杉本六甲部長の部長訪問もあって 20 名が参加。神戸ポートは昨年度も新入会者を複数人受け入れ、西日本区大会で優秀クラブ賞を獲得、六甲部の模範的なクラブである。この日の入会は女性 1 名、ベテラン会員が多い中で女性陣の活躍が期待されているように思いました。(若林)

若林成幸

【今月のみ言葉】

パウロはここで、「見えるもの」と「見えないもの」という相互に対立する二つの概念を取り上げて、私たちがそれぞれの人生において何を見据えて歩んで行くべきなのか、示そうとしています。

「見えるもの」とは何でしょうか。何よりそれは、文字通りに私たちの肉眼で見ることができるもの、すなわち形があるものを指しています。しかし、ここで

いう「見えるもの」とは、それだけに留まらず、流行や常識等のこの世的な事柄や価値観全般をも含んでいます。これらのものは、どんなに私たちの目に華々しく、魅力的に映ったとしても、やがては過ぎ去っていくものであり、その意味で一時的なものなのです。それに対して、「見えないもの」とは、まさに「見えるもの」の対極にあるもので、この世の価値観を越えたところにあるもの、永遠に存続する絶対的なものを指しています。

もちろん、この世的な価値観や常識（見えるもの）も大切であり、私たちはそれを無視して生きていくことはできませんし、パウロ自身も「見えるもの」を全面的に否定しているわけではないように思います。しかしながら、それらは永遠に存続するものではなく、やがては過ぎ去っていくものなのです。その意味でも、パウロはここで、私たちはこの世にあって、この世的な価値観にのみ捉われて生きていくべきではなく、自分自身が不完全な存在であることを覚え、永遠の存在である神を見すえて歩んでいくべきだと訴えているのでしょう。

嶺重 淑

YMCA だより



先日、保育園児と一緒に1泊2日でしたが、六甲山YMCAでキャンプを行いました。初日は川遊び、すいかわり、夜にはキャンプファイヤーと盛りだくさんのプログラムを行いました。2日目はグループで時間にとらわれずにやりたいことを考えてじっくり遊ぶ、というプログラムで構成しました。

保育園児ですし、引率するのも普段から一緒にいる保育教諭ですので、安心して保育園の延長上にある時間だと思われがちなのですが、キャンプは偉大です。普段と違う環境ということも大切ですが、その時間枠、いろんなことに囚われないことが、子どもも引率している大人も心を自由にさせ、普段ではでない気持ち、思い、考えが出てきて、活動がど

ンドン動いていく様子を今年も見ることができました。

今、幼児期の子どもの教育論が盛んに論議されるようになり、今年の保育指針、教育要領の改定でも「主体的活動としての遊び」というポイントが挙げられるようになりました。これまでYMCAが実践してきたことが認められるようになったという喜びと、それに恥じぬよう更にすぐれた教育・保育の迫及が必要だと感じましたが、改めて、YMCAの先達の行ってきたことの偉大さに感動と感謝の念を覚えました。

保育園でもキャンプを経て、子どもたちも大人たちも少し肩の力が抜け、少し視野が広がり、喜びの質が高まったようです。まだ夏は続きますが、日々の営みの大切さとともに経験、喜びが増える時間を少しでも過ごせるようにと、この時を大切に歩んでいます。

1. はんしん自立の家サマーキャンプ

例年、はんしん自立の家より応援要請をいただいて、入居されている方とキャンプを楽しむ「サマーキャンプ」ですが、今年度は8月27日(日)の午後よりはんしん自立の家で開催します。一緒にカレーを食べたり、スイカ割をしたり、キャンプファイヤーを楽しんだり、まさにキャンプを施設で行います。よければご一緒に楽しみましょう。

2. YMCAブランディング

7月第1例会でもお伝えしたように、いよいよブランディングの全貌が明らかになりました。単にマークなどビジュアルイメージを全国で統一することに眼がとられがちですが、その本質は、この日本各地で行っているYMCAの活動が、すべて一つのものであるということを証していくことの確認です。

なので、ワイズの皆様にも丁寧にお伝えしていくことが必要となります。神戸YMCAでは10月1日からマークも含め、実際の運用が始まりますが、それまでにお時間をいただければと思います。

第 21 回西日本区大会
実行委員会コーナー

六甲部役員も新体制になりいよいよ来年の大会まで 1 年を切る時期になりました。

第 7 回実行委員会は 2017 年 7 月 31 日(月)、18:30 から 20 名のメンバー出席のもと開催されました。杉本隆人部長は実行委員会の進捗状況を知って欲しいと、神戸学園都市クラブの新しいメンバーを伴われての出席。8 クラブ全部、メンバー全員の関心が大切な大仕事に向けて大変素晴らしいアイデアだと思います。宝塚クラブも機会があれば誘いましょう！

今回は主に予算審議でした。ホテルにかかる費用の詳細を検討し、出来るだけコストを抑え、登録費に還元出来るかが焦点です。登録費、2 万円を超える事がないように

若林成幸会計委員長を中心に頑張っています。

そろそろ大会当日のユニフォーム製作にとりかかる時でもあります。色はライムグリーンと決まっていますがデザイン、材質など具体的に進めて行くのが総務委員会の仕事です。8 月 14 日(月)、鈴木誠也総務委員長始め総務委員、会計委員、などで総務委員会を別途開催して今秋には最終案を出す予定です。又、その日は懇親会メニューの試食会もあります。神戸らしく中国料理です。実行委員以外の方もぜひご参加ください。締切は 8 月 10 日です。

実行委員長 石田由美子

みんなで一緒に歌いましょう

「見上げてごらん夜の星を」

見上げてごらん 夜の星を 小さな星の
小さな光が ささやかな幸せを 歌ってる

見上げてごらん 夜の星を 僕らのように
名もない星が ささやかな幸せを
祈ってる

手をつなご 僕と 追いかけて 夢を
二人なら 苦しみな一んか ないさー

見上げてごらん 夜の星を 僕らのように
名もない星が ささやかな幸せを
祈ってる
ささやかな幸せを 祈ってる

「ふるさと」

1、うさぎおいし かのやま
こぶなつりし かのかわ
ゆーめは いーまも めーぐーりーて
わすれがたき ふるさと

2、いかにいます ちちはは
つつがなしや とものがき
あーめにかーぜに つーけーてーも
おもいいずる ふるさと
(間 奏)

3、こころざしを はたして
いつのひにか かえらん
やーまは あーおき ふーるーさーと
みずは きよき ふるさと